



「VOICE 農業の現場から」は、京都府福知山市三和町で農業を営む、農業生産法人(株)京都府天田郡みわ・ダツシュ村が、日本の食の安全と農業の発展を願い、農業の現場・農政の矛盾・国民への投げかけを、メディアの皆様が発信するものです。食料自給率が低迷する中、農業改革は日本にとって必至です。メディアの皆様には様々な角度から農業を見ていただきたいとの思いから、情報提供をさせていただきます。

VOL.13 地方の活性化

今、日本では地方の過疎化が進み、活性化が急務な地域がますます増加している。そこで今回は、当社が実際に取り組んでいる地域活性化を事例として取り上げたい。

当社がある福知山市を活動拠点の一つとする、NPO 法人京都 SEINEN 団との共同事業で、農場「みわ・ダツシュ村」に2009年、巨大なブランコ（高さ11.3m）を建設した。農場のある過疎の町三和町に新たな観光資源創造のための事業である。建設主は、SEINEN 団で、みわ・ダツシュ村は場所の提供・協力というスタンスで取り組んだ。

農場の木を伐採して支柱に用いたブランコは、誰でも利用できるように府道に面した広場内に建設した。

するとそのブランコは「ハイジのオープニングのようなブランコ」として、数々のマスコミで紹介されるようになった。

人口約4000人の三和町には、今までこれという観光資源がなかったが、11.3mのブランコが一つの観光資源の役割を果たすようになった。

そんな中、「ギネス記録に申請すれば？」の声が自然発生的に起こり、調査したところギネスに登録されているのはカナダにある高さ20.8mのブランコ。

「ギネス認定」の話題性があれば、もっと集客効果があがるはずの思いで、京都 SEINEN 団の事業として2つめのブランコ、それも高さ22m以上を目指すブランコを農場に建設することになった。

ブランコ建設が完了したのは、2011年5月10日。そして5月22日にはお披露目イベントと称して、次の3つのイベントを同時開催した。

- 1) いいご夫婦アワード（11年=いい、5月=ご、22日=夫婦）…自薦他薦のいいご夫婦にアワードを授与する
- 2) ブランコ結婚式…世界一高いブランコで結婚式を挙げるカップルを募集し挙式を行う
- 3) 世界一高いブランコでの靴飛ばし

=====

上記のうち、「いいご夫婦アワード」は、福知山市役所三和支所、福知山市商工会……など地元の方々とともに実行委員会を結成し「地域で作る地域のイベント」の認識の周知と、雰囲気醸成した。

はじめての事であるため動員予測も立たないまま、実行委員会メンバーに、準備・警備・車の誘導・シャトルバス・屋台の出店など、数々の協力を依頼し、当日を迎えた。

人口約4000人の三和町であるが、この日は約500人が地元内外からイベントに参加し、大盛況であった。

実行委員も総力を結集し、トラブルもなく、すべてのイベントが無事終了した。

500名の参加があったこと、また、テレビ・新聞など数々のマスコミで取り上げられたことは大きな「地域活性化効果」であるが、何よりも大きかったのは、実行委員会を結成したことにより「SEINEN 団、みわ・ダツシュ村のイベント」から「地域を挙げてのイベント」にシフトしたことである。

民間企業やNPO法人が中心となり地域活性化を目的としたイベントや取り組みを行うことも多いが、特に地方では市町村役場と住民の距離が近いため、市町村役場に主催・共催・後援など、なんらかの役割を担ってもらうことで、住民がより参加しやすくなり、「地域を挙げてのイベント」という位置づけさえ可能になる。

耕作放棄農地問題に取り組む、みわ・ダツシュ村

当社は、限界集落を有する過疎地の三和町に点在する耕作放棄農地を購入して開墾し、優良化した農地で完全無農薬有機で農業をしております。農業の現場にいる者として、現場だからこそ見える、農政の矛盾・農業従事者からの提案を発信し、日本の農業の振興につなげていきたいと考えております。

■お問合せ先：農業生産法人・株式会社京都府天田郡みわ・ダツシュ村（略称・みわ・ダツシュ村）

：代表取締役村長清水三雄（しみずみつお）

■住所（京都四条オフィス）：〒600-8412 京都市下京区烏丸綾小路下がる西側 四条地下鉄ビル6 F

■TEL：075-954-6666（代表取締役村長 清水三雄直通）

みわ・ダツシュ村

検索

